

## ♪ 音楽科の授業および評価について ♪

### ☆評価項目

---

#### ①音楽への関心・意欲・態度

- 忘れ物をしないようにしましょう。
- 先生の話をよく聞き、意欲的な発言、ノートへの記入など、自主的に授業に参加しましょう。
- 歌唱・・・姿勢良く元気よく歌いましょう。
- 器楽・・・楽器の持ち方・運指・演奏の方法などに注意し、綺麗な音が出せるよう努力しましょう。

#### ②音楽的な感受や表現の工夫

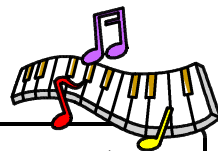
- 歌詞の内容や、メロディーの流れ、ハーモニーの美しさなどを感じ取り、楽しみながら歌い、演奏しましょう。
- 各声部・各楽器の役割を理解し、アーティキュレーションに注意し表現しましょう。

#### ③表現の技能

- 姿勢、ブレス、基本的な身体の使い方を理解し、無理のない成長に応じた発生で歌いましょう。
- 正しい音程で歌いましょう。
- 各楽器の響きの特性を理解し、綺麗な音色で演奏しましょう。

#### ④鑑賞の能力

- それぞれの曲の音楽的な要素に注意し、しっかりと聴き取りましょう。
- 興味を持ち、いろいろな事を考えながら鑑賞しましょう。
- 歌唱・楽器の曲に関心を持ち、響きの美しさを感じ取りましょう。



期末テストで知識理解の部分は評価しますが、  
実技テストの比重が高くなります。

## 美術科の授業および評価について

### ☆教科目標

絵を描いたり、ものをつくったりする表現活動および自然や美術作品などの見方を深める鑑賞活動を通して、美術の基礎的な能力を身につけ、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

### ☆評価について

各題材の学習目標に照らした評価規準に基づき、下記の4つの観点について、授業での活動観察や提出されたスケッチや作品、レポート、学力テストなどを資料に総合的に評価する。



### ☆評価項目 ( ) は主な評価資料

#### ①美術への関心・意欲・態度 (準備物、学力テストなど)

- ・落ち着いて机に向かうことは、自分の可能性を最大限にのばすための基本姿勢です。
- ・忘れ物をしないこと。
- ・ふだんから日常生活の中にあふれる色や形の美しさなどに関心を持ち、授業で使える資料や材料はストックしておこう。

#### ②発想や構想の能力 (アイデアスケッチなど)

- ・自分の目で見たことや頭の中で考えたことを、のびのびとたくさんスケッチしよう。スケッチは必ずしも形の正確さを求めるものではありません。

#### ③創造的な技能 (完成作品など)

- ・用具や材料を正しく扱って、見たことや考えたことを、美しく丁寧に作品を仕上げよう。

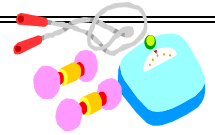
#### ④鑑賞の能力 (感想文やレポート、学力テスト)

- ・鑑賞に関する知識は美術作品などの見方を広げます。興味をもって学習しよう。
- ・感想文やレポートでは、美術作品などから感じ取ったことを、想像力を働かせ自分の言葉でしっかりと書こう。単に「すごかった」「よかった」だけではなく、作品のどういうところに興味を惹かれたかを書き、作者の気持ちも考えよう。

# 保健体育科の授業および評価について

## ☆評価項目

### ◇体育分野評価項目



#### ①運動や健康・安全への関心・意欲・態度

- ・公正な態度で授業に参加し、周りとは協力したり、自分の責任を果たしたりできる。
- ・服装を整え、時間に遅れず、進んで授業の準備ができる。
- ・健康状態に留意し、練習場や用具の安全に気を配りながら運動しようとする。
- ・楽しい授業の創造を目指し、意欲的に授業に参加できる。

#### ②運動や健康・安全についての思考・判断

- ・自分やグループの力に応じて、課題を見つけることができる。
- ・自分やグループの課題を解決するために活動の仕方を考えたり、工夫したりできる。
- ・課題や反省をノートなどにまとめることができる。

#### ③運動の技能

- ・運動の特性に応じた技能を身につけている。
- ・自己の能力にあった課題達成に向けて、運動を行うことができる。
- ・自己の体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。

#### ④運動や健康・安全についての知識・理解

- ・運動の特性や学び方、安全の確保の仕方、生活における運動の意義について基礎的な事項を理解できる。

### ◇保健分野評価項目

#### ①運動や健康・安全への関心・意欲・態度

- ・自分や他人の健康や安全に関心を持つことができる。
- ・自ら健康で安全な生活を送るため、進んで学習に取り組める。

#### ②運動や健康・安全についての思考・判断

- ・自分や他人の健康や安全に関する課題を見つけることができる。
- ・健康や安全に関する課題を科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断できる。

#### ③運動や健康・安全についての知識・理解

- ・健康・安全の意義を理解することができる。
- ・心身の健康や安全な生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

## 技術・家庭科(技術分野)の授業および評価について

### ☆教科目標

---

---

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

### ☆技術分野の目標

---

---

実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。



### ☆評価について

---

---

- ・授業への意欲を考慮する。
- ・各評価規準に基づき、学習活動における態度や課題解決をおこなう意欲、技術の活用などに対する評価をおこなう。従って作品や学習プリント、ワーク等の提出物の内容からも評価をおこなう。
- ・知識理解の度合いをはかるため、テストについても評価をおこなう。

### ☆評価項目

---

---

#### ①生活や技術への関心・意欲・態度

- ・ものづくりやエネルギーの利用、生物の育成、コンピュータの活用に関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。
- ・実習において、計画・準備片付け・実習を積極的に取り組むことができる。
- ・自らの課題解決に向けて取り組むことができる。
- ・学習プリントやワーク、作品など、提出物の課題に対して意欲的に取り組むことができる。

#### ②生活を工夫し創造する能力

- ・生活と技術の活用に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。

#### ③生活の技能

- ・実習などに対して意欲的に取り組み、技能を習得することができる。

#### ④生活や技術についての知識・理解

- ・生活に必要な技術に関する知識を習得するとともに理解を深めることができる。

## 技術・家庭科(家庭分野)の授業および評価について

### ☆家庭分野の目標

---

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

### ☆評価について

---

- ・授業への意欲を考慮する。
- ・各評価規準に基づき、学習活動における態度や課題解決に望む意欲、生活への活用力などから評価を行う。従って作品やノート、プリント等の提出物の内容からの評価の割合が高い。
- ・知識理解の度合いをはかるために、テストからも評価を行う。



### ☆評価項目

---

#### ①生活や技術への関心・意欲・態度

- ・衣食住や家族の生活について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。
- ・家庭生活をよりよくするために進んで学んだことを理解しようとしている。
- ・生活に関わる実験や実習において、計画・準備・実習・後かたづけ・反省の流れにそって積極的に取り組んでいる。
- ・作品やプリントなどの提出物の課題に自主的・意欲的に取り組んでいる。

#### ②生活を工夫し創造する能力

- ・衣食住や家族の生活について見直し、それらに関する課題が見つけれられる。
- ・自らが見つけた課題に対して、課題解決のために自分なりに工夫したり、新たな方法を考えたりできる。

#### ③生活の技能

- ・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につけている。
- ・よりよい生活を営むためにいろいろな方法を調べたり、生活に活用できる。
- ・よりよい生活を営むために適切な選択ができ、生活に活用できる。
- ・作業や実習に必要な用具や用材を安全で適切に取り扱うことができる。

#### ④生活や技術についての知識・理解

- ・家庭の基本的な機能について理解している。
- ・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につけている。
- ・作業や実習において、使用する用具や用材の安全と衛生に留意した取り扱いを理解している。